

対象案件	北広島市都市計画マスタープラン（改訂版）の策定について
意見募集期間	平成24年11月10日（土）から平成24年12月9日（日）まで
担当部署(問合せ先)	企画財政部 都市計画課 電話 011-372-3311 内762
意見提出件数	意見提出者数 4人
	意見提出件数 11件

提出のあった意見の概要	市の考え方 (案を修正したときは修正内容)
<p>1 土地利用について</p> <p>◆北広島団地の容積率緩和はもう必要性が低くなっている。十分に地価が低下したため、無理に二世帯住宅を建ててよりもスーパの冷めない距離に新たに購入する方が、北広島団地の環境を維持しつつ移入者増加につながります。</p> <p>逆に他にない余裕のある敷地に魅力を感じてもらおうほうが、特徴がでてよいと思います。山手町のある空き家は、車7台分の駐車場を広げ、犬3匹の家族が購入して毎日楽しく犬の散歩をし、仕事に出かかっています。こんな利用法もあるのです。（庭もほどほどには残っています）</p> <p>◆団地に分散配置されている近隣商業地域の再開発を、地域づくりの基本方針に入れるべきです。かつては大規模な商業施設への集中がありました。高齢化が進む現在、過去に見捨てられていた小商圈店舗が、逆に注目されています。コンビニは生鮮を扱いはじめ、スーパーも地域密着を目指しています。</p> <p>しかし、従来型の営業をしている店は業態の転換が出来ず、撤退しか考えていません。これを打破するには、地域密着型店舗経営コンサルタントを市が斡旋提供し、また若手自営業者の発掘、起業支援を行うべきです。この点をふまえた方針を作ってください。</p> <p>2 都市交通体系について</p> <p>◆「移動の利便性」の中では、西部地区（または大曲地区発で西部地区経由）⇔JR北広島駅方面の通学利用時間帯の複本数増便の整備を希望します。</p> <p>JR北広島駅着 6:45~7:00 到着便 JR北広島駅発 19:30~19:45 発便</p> <p>特に高校進学時の学区統合から、各方面への進学生が</p>	<p>◆今回の改訂では、北広島団地地区での二世帯住宅の記述につきましては、需要が少なくなったため削除しております。</p> <p>いただいたご意見は参考とさせていただきます。</p> <p>◆北広島団地内の各住区に配置されている、近隣商業地域につきましては、再生が必要となっております。</p> <p>具体的な内容の記載は各分野の個別計画で行います。いただいたご意見は参考とさせていただきます。</p> <p>◆都市計画マスタープランにつきましては、都市づくりの基本的な将来像を現したもので、路線バス増便についての具体的な内容の記載は行わないものであります。</p> <p>ただし、いただいたご意見・ご要望は、担当課にも内容を伝えております。</p>

増えてきています。通学時間の条件が折り合わず、少数ではありますが市外へ転居する家庭も聞きます。文武両道の意識をもって活躍する学生の士気維持の観点でも、登校時間及び帰宅時間帯の増便についてプランに加えていただき、早急に整備していただきたいと思えます。

◆虹ヶ丘地区の徒歩と自転車のネットワークなどについて

一般に西の里地区や虹ヶ丘地区などについての地域プランに、厚別東通りの東側地域の虹ヶ丘8丁目忘れられているように思われます。虹ヶ丘8丁目地区からも小学生が通学をしますので、厚別東通を渡る通学路が存在しますので安全性を高める必要があります。

◆地区間の路線バス

北広島市のいくつにも分断された地区開発の結果、地区間の行政サービス格差や人の交流が地区で分断される傾向にあります。地区間を走る定期路線バス（約15～30分毎が望ましい）は、地域の活性化や非効率で不公平な行政サービスの是正にも役立つかもしれません。

◆公共交通について

交通に関しては路線バスの充実に努めるとの方針ですが、公共交通の利用促進をいくらたっても、利用者は減る一方です。やはり少数多頻度ドアツードア運行の交通手段を求めており、運転出来る限りは自家用車を利用するというのが、自然の流れです。

したがって、次世代交通手段の実用化が望まれます。各地区内交通路での実験をメーカー研究機関に働きかけてはどうでしょうか。北広島は、ほどほどの交通量ですから、過密都市よりも実用化のハードルが低いのではないのでしょうか。北広島で、実証運行を実施しその上で過密都市への適用を測っていくというが良いのではないのでしょうか。

3 緑・水環境について

◆エネルギー活用できる水力、中小水力、風力、太陽光、地熱、バイオマス、ゴミ発電など地域資源を徹底活用した「地域エネルギー戦略」を住民参加型で立案し、災害時にも強いエネルギー自立型地域をめざす。

◆都市計画マスタープランにつきましては、都市づくりの基本的な将来像を現したものです。虹ヶ丘8丁目から、厚別中央通の横断は国道274号と、虹ヶ丘中央通交差点の2箇所に信号機が設置され、歩道幅員は3.75mであることから、歩行者への安全性は確保されていると考えております。

◆都市計画マスタープランにつきましては、都市づくりの基本的な将来像を現したもので、定期路線バスの具体的な記載は行いません。

市内のバス路線につきましては、東部・団地地区から西の里地区や大曲・西部地区に対して整備されています。増便や、新たな路線等は担当課とバス事業者等との協議を重ねて慎重に検討して行くこととなります。

◆都市計画マスタープランにつきましては、都市づくりの基本的な将来像を現したもので、いただいたご意見は参考とさせていただきます。

◆都市計画マスタープランにつきましては、都市づくりの基本的な将来像を現したもので、今回の改訂では、新たなエネルギーとして、「環境負荷の少ない太陽光発電をはじめ生ごみのバイオガス化など、再生可

◆西部地区 クラーク博士関連施設の充実をうたってください。やはり、馬上のクラーク博士像が欲しいです。できれば、見送りの学生群像もとりあえずジオラマを駅通においては

4 都市防災について

◆防災に関して、原子力発電所事故（放射能汚染）対策を加えること。

◆脱原発をめざす首長会議に参加することを通じて、“美しい環境につつまれた安全なまち”の実現に努める。

5 その他

◆閉校後の利用にエコミュージアムについて予算と規模とその必要性を再検討する必要があるかと思えます。

能エネルギーの有効活用を進めます。」と追記しています。いただいたご意見につきましては、参考とさせていただきます。

◆旧島松駅通所周辺の具体的な内容につきましては、個別の整備計画で行います。いただいたご意見は参考とさせていただきます。

◆原子力災害対策につきましては、東日本大震災を契機とした原子力発電所事故を受け、北海道で本年1月10日に原子力防災対策の対象区域拡大や、避難所にホテルを活用するなどの修正をした「北海道原子力防災計画」を決定しましたが、国が方針を示していない部分の修正は見送られました。今後につきましては、札幌広域圏内の市町村と連携を図り、北海道や札幌市の動向を注視してまいります。

◆いただいたご意見につきましては、都市計画マスタープランにはそぐわないものと考えております。また“美しい環境につつまれた安全なまち”づくりには、今後とも努めてまいります。

◆閉校後のエコミュージアムにつきましては、「学校跡施設利活用計画」に基づき施設の改修等を進めております。